

【コルダムジカ 代表 太田圭亮プロフィール】



神戸市出身。幼少の頃よりヴァイオリンを始める。

九州芸術工科大学(現 九州大学芸術工学部)音響設計学科に進学し音響工学の基礎を学ぶ。

大学在学中より様々なオーケストラでコンサートマスターとして演奏する機会に恵まれ、様々な協奏曲を弾く機会にも恵まれた。

卒業後、幼稚園等での導入のためのレッスンを始めるようになる一方、アマチュアの自主企画オーケストラへコンサートマスターとして参加、室内楽コンサートの主催を行うようになる。プロとしての活動もはじめ地元のプロオーケストラ「九州交響楽団」「広島交響楽団」にて、エキストラとして研鑽を重ねた。

1995年より宗教曲のみを取り上げて活動をしている合唱団「福岡シンフォニック合唱団」の専属の合奏団コンサートマスターとして数多くのミサ曲、レクイエム等を経験する機会を得る。(当団体は2008年よりプロのメンバーのみで活動するためにシンフォニエッタ福岡と改名し現在も共演を続けている。)

2001年・2002年 北九州芸術祭入選。

2002年 霧島国際音楽祭に参加。ウォルフガング・マルシュナーのマスタークラスを受講。

2010年イタリアのバイオリニスト、グラウコ・ベルタニン氏との出会いにより、多いに感銘を受け師事。度々イタリアへ赴き研鑽・交流を重ねている。

現在、福岡市内でバイオリン教室を開催する一方、「コルダムジカ」主宰として、様々なコンサートを企画。日本全国でリサイタルや室内楽コンサートを行う一方、福岡サロンオーケストラ・は〜とけあ Quartet のメンバーとして、また、2008年よりシンフォニエッタ福岡コンサートマスターとして活動し、2014, 15, 17年のイタリア演奏旅行を成功に導いた。

2020年には25名のプロ音楽家の賛同を得て「福岡・こんなところあるよプロジェクト」を立ち上げ。コロナ禍で困窮する「小さなコンサートステージ」を持った13か所のカフェなどをリレー演奏で紹介し、それを9月中には動画配信する予定。